

**(社)電力土木技術協会会長に
JPD 藤野社長が就任**

JPD

5月28日、(社)電力土木技術協会総会にてJPD 藤野社長が第10代会長に就任しました。同協会は、電力土木および関連分野で活躍する技術者、研究者並びに官公庁、電力会社をはじめとする多くの企業が会員となっており、わが国の健全な発展のために水力・火力・原子力及び流通設備に係わる土木技術の調査研究や情報支援による進歩向上を目的として活動している団体です。

藤野社長はJ-POWER 在籍時には奥清津第二建設所長等の要職を歴任し、様々な場で電力土木技術の発展に携わってきました。また情報化社会における企業・技術のあり方についても造詣が深く、IEA 水力実施協定委員を務めるなど国際経験も豊富なことなど多方面での活躍が評価されて、今回の選任となりました。

藤野社長は会長就任に当たり、「複雑化、多様化する社会や会員のニーズへの対応」「情報公開と著作権・会員保護」など、今後の(社)電力土木技術協会の課題を挙げ、一つ一つ意見を交わしながら解決していきたいと抱負を語りました。 (事業企画部)



▲会長就任の挨拶を行う藤野社長

※開発設計コンサルタントは7月1日付けでコミュニケーションネームをKDCからJPDに変更しました。